

令和3年3月30日

高鍋町長 黒木敏之 様

高鍋町総合計画審議会
会長 出山 実

第6次高鍋町総合計画後期基本計画について（答申）

令和3年3月5日付高地一659で諮問のありました第6次高鍋町総合計画後期基本計画（案）について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、適当であるとの結論に達しましたので答申いたします。

町においては、町の将来像『歴史と文教の城下町 たかなべ ～ 対話でつながる 豊かで美しいまちづくり～』を実現するために、町民と事業者、行政との連携を図りながら対話を通じて高鍋らしいまちづくりを推進し、幸せを実感できるまちを目指されますよう要望いたします。

また、計画の推進にあたって留意すべき事項を下記のとおり申し添えます。

記

1. 高鍋町の将来像、SDGsの目標達成、幸福度向上の実現に向けて、町民や事業者等との対話を基本とした協働・連携により、まちづくりを進めること。
2. 基本施策にある項目を確実に推進していくこと。推進にあたっては、町民や事業者等と協働・連携により、信頼関係を築きながら、まちづくりを進めること。
3. まちづくりにおいて、重要な審議事項や方向性の決定を行う場合には、対話の場を積極的に設けていくこと。また、対話の場が定期的で開催できるように、対話の場を担う職員の育成や、開催のルールづくりを行うこと。
4. 本計画を行政と住民、事業者等に浸透させ、広く多くの人にまちづくりに参加してもらうよう促すこと。
5. 新型コロナウイルスとの共存の時代における対話、連携、参加の形（オンラインでの開催等）を模索すること。